

## 2 目標達成計画(R5)

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 防火用品の管理・備蓄する体制が十分ではない。	防火用品を計画的に備蓄・消化することができる。また、職員が管理品目を把握できる。	①管理品目一覧表を明示し、チェック管理を行う。 ②年間スケジュールとして取り組む。	12か月
2	53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり コロナウィルス感染の影響により、屋内での活動が増え、共用空間が居心地の良い場になるよう、再整備が必要である。	施設全体の空間を活かし、圧迫感なく、安全に快適に過ごせる。	①感染防止対策を視野に入れたホール・小上がりの模様替え及びエレベーターホール等、各所に設置したベンチなど、配置の見直しを行う。 ②季節ごとの装飾品の再提案。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。